

平成28年度
名古屋大学大学院工学研究科
計算理工学専攻博士課程(前期課程)
入学試験問題

専門部門

以下の注意をよく読みなさい。

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはならない。
2. 答案用紙は、予備1枚を含めて合計2枚ある。
 - (1) 罫線が印刷された答案用紙1枚に解答せよ。(問題番号は空欄でよい)
 - (2) 予備の答案用紙を下書き用紙として使用してよい。
3. 答案用紙には氏名を記入してはならない。
4. 問題用紙、答案用紙(予備を含む)はすべて回収するので、持ち帰らないこと。

問題は次のページから始まる。
このページは、下書きに用いてよい。

小論文

以下の問い(1)および(2)の両方に解答せよ。

- (1) 過去において、計算手法の開発や改良が科学技術の発展に寄与した例を1つ挙げ、その内容を詳しく説明しなさい。
- (2) 将来において、計算手法の開発や改良によってもたらされる科学技術の発展としてどのようなことが考えられるか、(1)の解答を踏まえ論述しなさい。

なお、これら二つの問題は等しい配点で評価されるため、片方の問題に時間をかけ過ぎないように注意すること。また、論理展開力を重視して採点するので、そのことに留意して論述しなさい。

